

藻類にも効果があり、**田植え同時処理**出来る**初期**除草剤

アークエース®

ブタクロール・ACN(モゲトン®) 1キロ粒剤

混合剤

成分：ブタクロール・・・7.5%
ACN・・・・・・・9.0%
毒性：－(毒劇物に該当しない)

アークエース®及びモゲトン®はアグロ カネショウ(株)の登録商標



水田**初期**除草剤の **A** **エース** **登場!!**

田植え前、
田植え直後の使用で
初期雑草を一掃 **1**

除草剤抵抗性雑草
(アゼナ、イヌホタルイ等)
にも効果的 **2**

アオミドロ、
表層はく離に卓効 **3**



アメリカアゼナ



イヌホタルイ



アオミドロ



表層はく離

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ブタクロールを含む農薬の総使用回数	ACNを含む農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植7日前 または 移植直後～ノビエ1.5葉期 ただし、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布 又は 無人航空機による散布	2回以内	3回以内
		移植時			田植同時 散布機で施用		

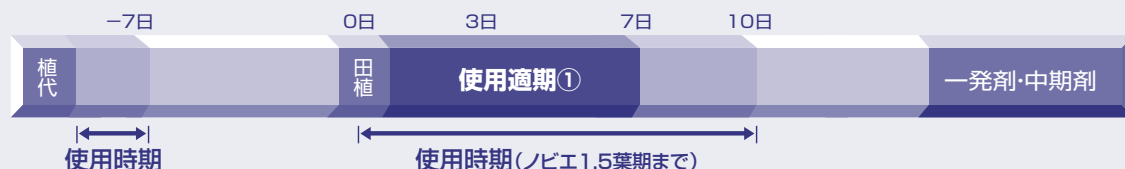
令和5年7月現在



アグロ カネショウ株式会社

上手な使い方

使用適期①に初期除草剤としてご使用ください。一発処理剤・中期除草剤との組み合わせ使用により安定した効果が得られます。



確実に安定した効果

■成分の特長

ブタクロール

- ノビエ、一年生の広葉雑草、ホタルイ、ミズガヤツリなど、広範囲な雑草に効果を示す
- 長期間の持続性がある

ACN

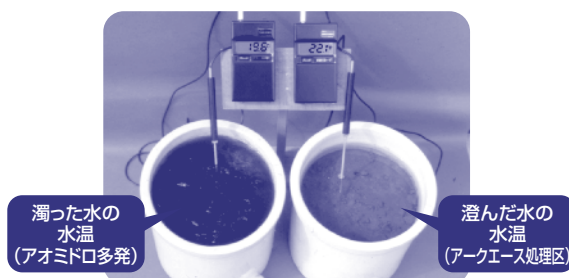
- 藻類、表層はく離、ウキクサに卓効
- 効果発現は1～2日(速効的)

相乗・相加効果!

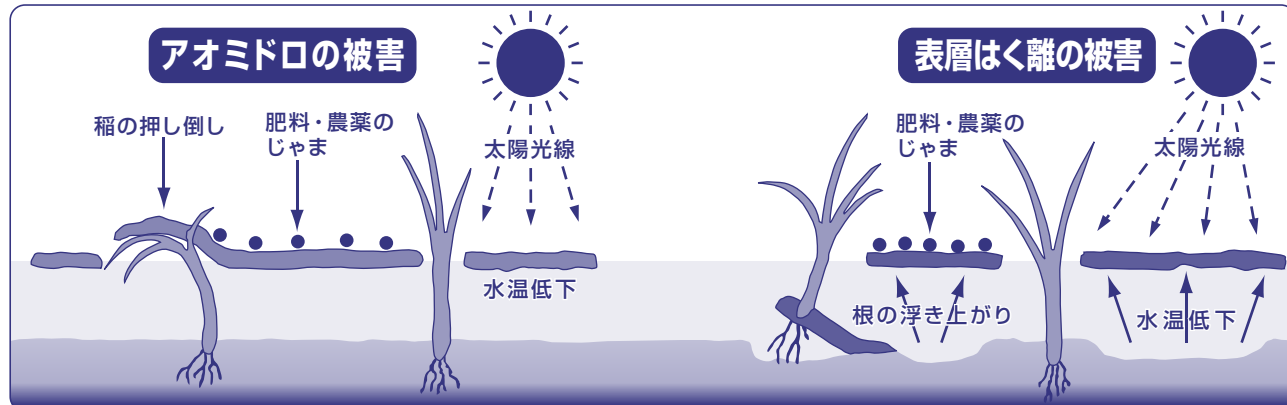
処理後、速効的にACNが水面下の雑草の生育を抑制する為、**ブタクロール**がより効きやすくなる。
SU抵抗性雑草もOK

アークエース1キロ粒剤のプラス効果

- アオミドロ・表層はく離の発生を防ぎ、水温の上昇を助けます。
水稻の活着～分けつ期はできるだけ高い水温を維持することが、収量確保の重要なポイントです。
- 水面が澄み、フロアブル剤やジャンボ剤などの水面(水中)展開が容易になります。



■アオミドロ・表層はく離が繁茂すると稲にこんな悪影響があります。



⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1.5葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ及びアオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期です。
- 苗の植付けが均一になるように、整地、代かきはていねいに行い、ワラくすなどの浮遊物はできるだけ取り除いてください。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行ってください。
- 散布に当っては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも4日間は通常の湛水状態(3～5cm)を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、また散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 田植え同時期に散布する場合は、通常の移植作業と同様の落水下で田植えと薬剤の散布を行い、散布後入水して通常の湛水状態を保ってください。
- 無人航空機による散布を使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - ①散布は散布機種に準じて実施してください。
 - ②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布してください。
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
- 下記のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。特に下記①～③の条件と散布時または散布数日以内の梅雨明けなどによる異常高温が重なると初期生育の抑制が顕著になるので注意してください。
 - ①極端な砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)。
 - ②軟弱な苗を移植した水田。
 - ③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。

- 活着遅延を生じるような異常低温が予測されるときは、初期生育の抑制などが生じるおそれがあるので、このような条件下での使用に際しては、県の防除指針に基づき関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水稻が水没するような極端な深水で使用すると薬害を生じることがあるのでさけてください。
- 本剤散布後の田面水を他の作物へ灌水しないでください。
- 使用後の空袋は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤食などないように注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをして衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 魚毒性…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、冷蔵・乾燥した所。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。